

ぼくのノオト

(27) 小さい秋

秋ふかし、ちから百倍、孫のつえ。

裏磐梯で見かけた元気なバアちゃん、歩いて追いつくのも苦労した。

かつて、大きいことはいいことだった時代があった。負けるな追い越せと、大量生産と消費が社会の使命であるかのように。

ソーラーや風車が悪いわけではないのだが、なぜメガや巨大になるのか。変わらぬ利権が、クリーンやエコという魔法の言葉をかざし、無条件に突き進む。山の樹木を根こそぎ伐採し、ばらまかれた大量の除草剤は森の生きものや、川の魚を死滅させていく。森林が持つ保水力を奪われた裸の山肌は、ひとたびの大雨で土石が崩れ、濁流が人里や田畠を襲っていく。

元気なバアちゃんの行く先は、どこまでも紅葉の森だった。山一面を覆う灼熱のパネルや、峰々を縦断する工事車両用の産業道路もなかった。奥深くて壮大な自然は、ヒトの浅ましい行為をここまで許してくれるのだろうか。



認定NPO法人 いわき放射能市民測定室
たらちねクリニック
院長 藤田 操

〒971-8162 福島県いわき市小名浜花畠町11-3 カネマンビル3階 Tel.0246-38-8031 診療科目 内科・小児科／診療時間 午前9時～12時・午後2時～5時(受付は30分前)／土・日・祝日休診